

2010年8月の東北地方の天候

【8月の特徴】

○記録的な高温

○台風第4号の上陸

(1) 2010年8月の概況

月を通して日本付近で太平洋高気圧の勢力が強く、東北地方は晴れの日が多かったが、気圧の谷や前線の影響で、東北日本海側を中心に曇りや雨の日があった。中旬には、台風第4号が秋田県に上陸し、その後も低気圧や前線の影響で、東北日本海側を中心に大雨となった日があった。太平洋高気圧におおわれて晴れたことや、南から暖かい空気が流れ込んだ影響で、月平均気温平年差は東北地方で+2.7°Cとかなり高くなり、8月としては1946年の地域平均の統計開始以来、東北地方の月平均気温の高い方からの1位の値を更新した。また、東北地方の11地点の気象官署で、8月の月平均気温の高い方からの1位の値を更新した（タイ記録を含む）。

月平均気温は東北地方でかなり高い。月降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。月間日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。

(2) 各旬の天候経過

上旬：この期間、高気圧におおわれて概ね晴れたが、期間のはじめは気圧の谷や前線の影響で曇りとなり、雨の降ったところがあった。気温は、南から暖かい空気が流れ込んだことや、晴れた日が続いたため、かなりの高温となった。6日には、むつで34.5度の日最高気温を観測し、日最高気温の高い方からの1位の値を更新した。なお、大気の状態が不安定で局地的大雨となったところがあり、2日は福島県で浸水害が発生し、9日は青森県と秋田県で土砂災害や浸水害などが発生した。

平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北地方で平年並。

中旬：この期間、低気圧や前線、台風の影響で曇りや雨の日が多かったが、期間の後半は高気圧におおわれて晴れた日があった。なお、11日から12日は、台風第4号の影響で東北北部を中心に大雨となり、浸水害や土砂災害が発生した。また、14日から15日及び17日は、低気圧や前線の影響で東北日本海側を中心に大雨となり、秋田県や岩手県で洪水害や浸水害、土砂災害などが発生した。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。

下旬：この期間、高気圧におおわれて晴れて気温の高い日が多かったが、期間の中頃と終わりは前線や気圧の谷の影響で、東北北部を中心に曇りや雨の日があった。24日から25日にかけては、前線の影響で大気の状態が不安定となり、東北日本海側を中心に大雨となった。このため、青森県、秋田県、山形県で浸水害や土砂災害などが発生した。31日は南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、大雨となったところがあり、青森県、秋田県、岩手県で浸水害や土砂災害などが発生した。

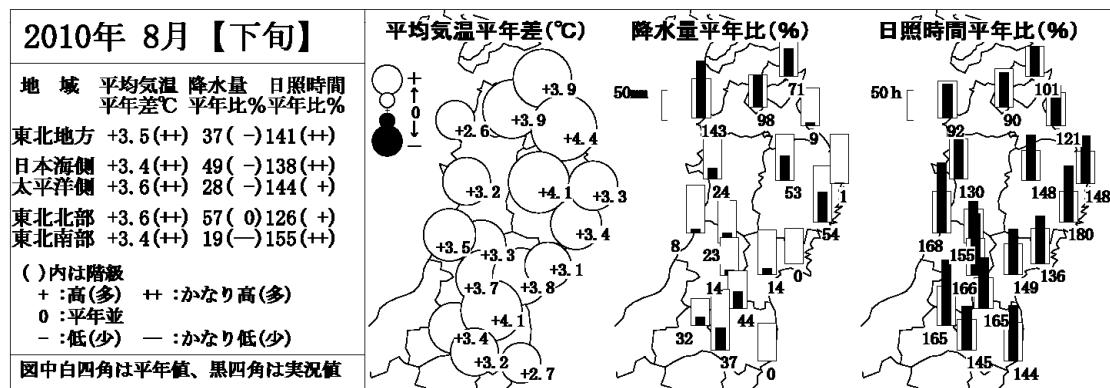
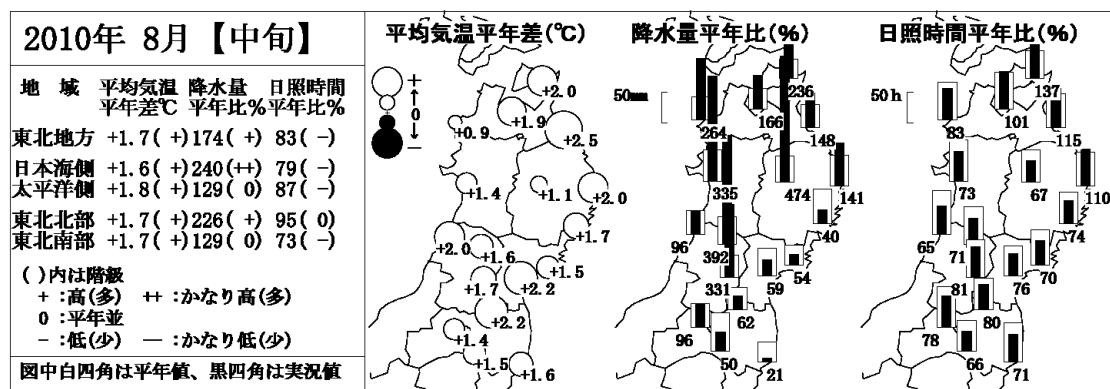
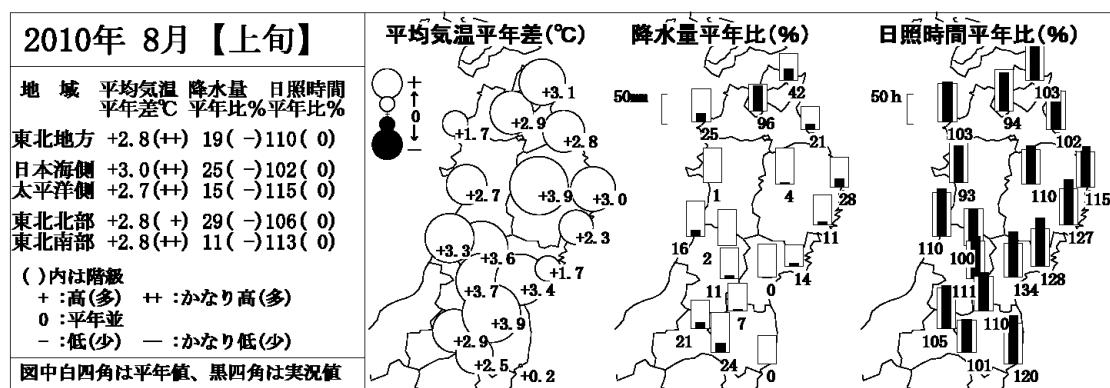
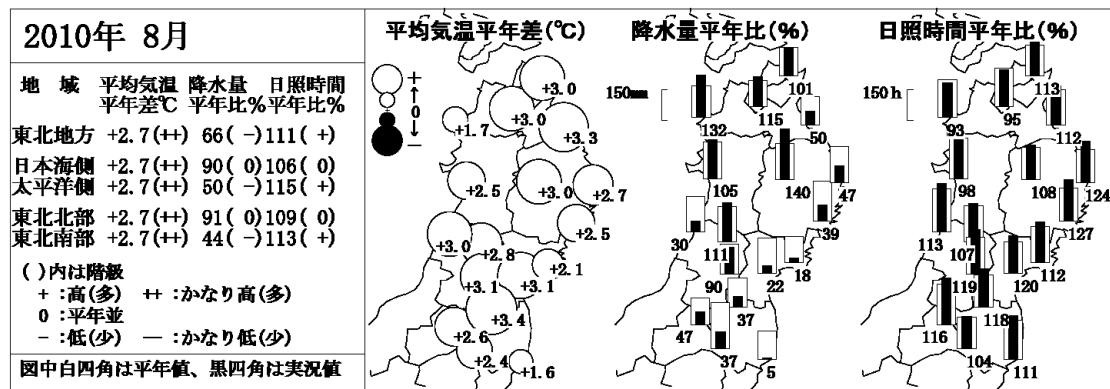
平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。

(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2010年8月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2010年8月の月気候表

| 地 点 名 | 平均気温(平年差) | | 階級 | 降水量(平年比) | | 階級 | 降水日数 | 日照時間(平年比) | | 階級 |
|-------|-----------|---------|----|----------|-------|----|------|-----------|--------|----|
| | (°C) | (°C) | | (mm) | (%) | | | ≥1mm | (h) | |
| 青 森 | 26.0 | (+3.0) | + | 149.0 | (115) | + | 10 | 181.0 | (95) | ○ |
| 深 浦 | 24.8 | (+1.7) | + | 208.5 | (132) | + | 12 | 172.4 | (93) | ○ |
| む つ | 24.7 | (+3.0) | + | 141.5 | (101) | ○ | 9 | 172.6 | (113) | ○ |
| 八 戸 | 25.6 | (+3.3) | + | 70.0 | (50) | - | 9 | 194.7 | (112) | + |
| 秋 田 | 27.0 | (+2.5) | + | 191.0 | (105) | + | 8 | 196.9 | (98) | ○ |
| 盛 岡 | 26.2 | (+3.0) | + | 249.5 | (140) | + | 8 | 171.0 | (108) | ○ |
| 大 船 渡 | 25.5 | (+2.5) | + | 78.0 | (39) | - | 6 | 204.9 | (127) | + |
| 宮 古 | 24.9 | (+2.7) | + | 85.5 | (47) | - | 6 | 205.5 | (124) | + |
| 仙 台 | 27.2 | (+3.1) | + | 37.5 | (22) | -* | 5 | 187.1 | (120) | + |
| 石 卷 | 25.6 | (+2.1) | + | 23.0 | (18) | - | 4 | 199.1 | (112) | + |
| 山 形 | 27.7 | (+3.1) | + | 134.5 | (90) | ○ | 10 | 220.4 | (119) | + |
| 新 庄 | 26.7 | (+2.8) | + | 194.0 | (111) | ○ | 8 | 190.2 | (107) | ○ |
| 酒 田 | 27.9 | (+3.0) | + | 53.5 | (30) | -* | 6 | 239.5 | (113) | + |
| 福 島 | 28.6 | (+3.4) | + | 53.0 | (37) | - | 7 | 188.7 | (118) | + |
| 若 松 | 27.4 | (+2.6) | + | 62.0 | (47) | - | 7 | 231.1 | (116) | + |
| 白 河 | 25.7 | (+2.4) | + | 84.0 | (37) | - | 9 | 159.5 | (104) | ○ |
| 小 名 浜 | 25.5 | (+1.6) | + | 7.0 | (5) | -* | 1 | 215.6 | (111) | + |

(注) 1. 年平均値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+−」に*を付加した。この場合には

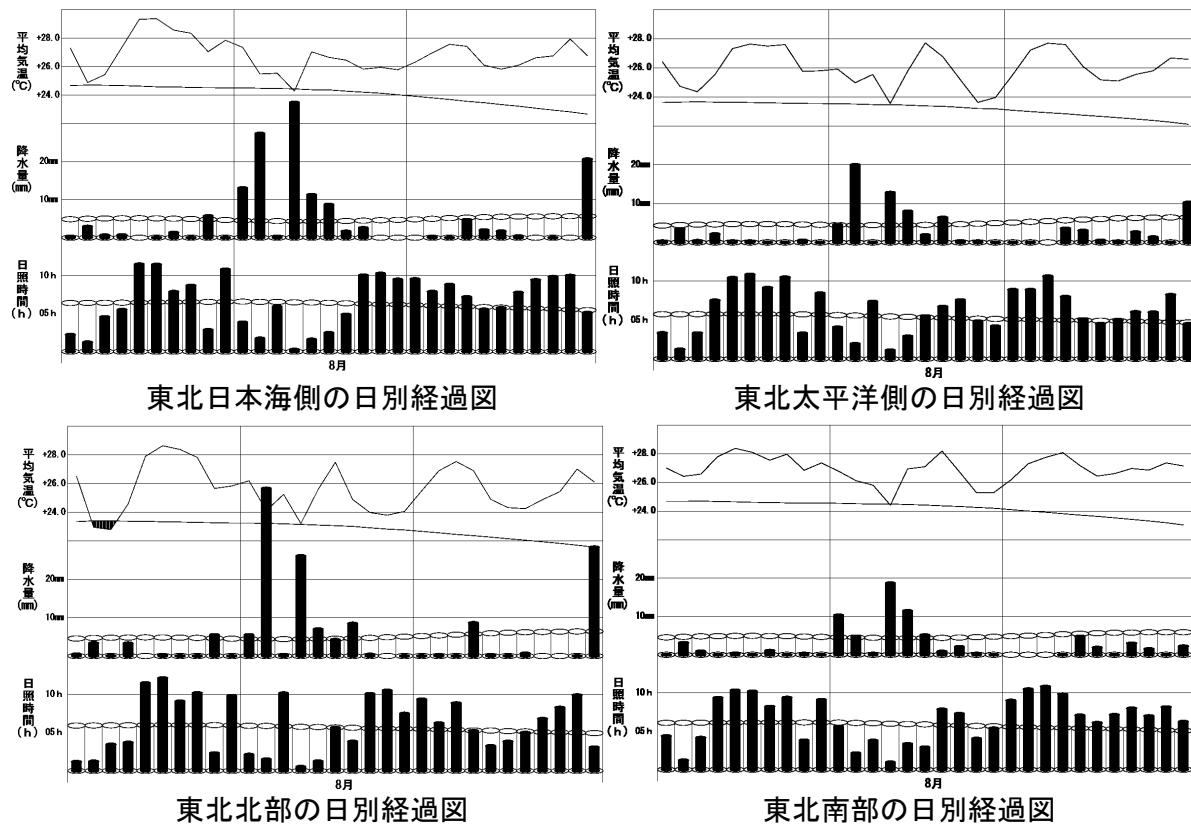
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に)や]がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2010年8月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2010年8月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

| 順位 | 地点名 | 平均気温 °C | 平年差 °C | これまでの最高 °C (西暦年) | 開始年 | 平年値 °C |
|----|-----|------------|-----------|---------------------|------|-----------|
| 1 | 新庄 | 26.7 | +2.8 | 26.3 (1994) | 1958 | 23.9 |
| | 若松 | 27.4 | +2.6 | 27.3 (1994) | 1953 | 24.8 |
| | 青森 | 26.0 | +3.0 | 25.9 (1994) | 1882 | 23.0 |
| | むつ | 24.7 | +3.0 | 24.4 (1985) | 1935 | 21.7 |
| | 八戸 | 25.6 | +3.3 | 25.3 (1985) | 1936 | 22.3 |
| | 盛岡 | 26.2 | +3.0 | 25.9 (1985) | 1924 | 23.2 |
| | 酒田 | 27.9 = | +3.0 | 27.9 (1985) | 1937 | 24.9 |
| | 山形 | 27.7 | +3.1 | 27.4 (1985) | 1889 | 24.6 |
| | 仙台 | 27.2 | +3.1 | 26.6 (1994) | 1927 | 24.1 |
| | 福島 | 28.6 | +3.4 | 27.9 (1985) | 1889 | 25.2 |
| | 白河 | 25.7 | +2.4 | 25.4 (1994) | 1940 | 23.3 |
| 3 | 大船渡 | 25.5 | +2.5 | 26.0 (1994) | 1963 | 23.0 |
| | 秋田 | 27.0 | +2.5 | 27.3 (1999) | 1883 | 24.5 |
| | 宮古 | 24.9 | +2.7 | 25.1 (1985) | 1883 | 22.2 |

月平均気温低い方からの順位更新
3位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新
3位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

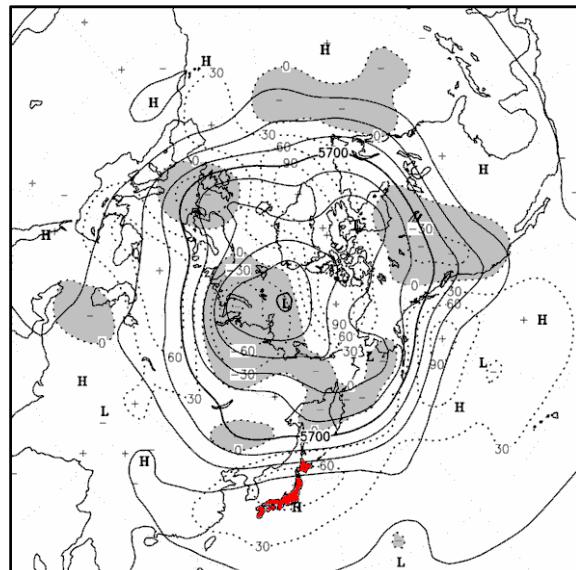
| 順位 | 地点名 | 降水量 | 平年比 | これまでの最小 (西暦年) | 開始年 | 平年値 |
|----|-----|-----|-----|------------------|------|-------|
| | | mm | % | mm | | mm |
| 2 | 小名浜 | 7.0 | 5 | 5.0 (1984) | 1910 | 141.7 |

月間日照時間多い方からの順位更新
3位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新
3位以内はなし

(7) 2010年8月の循環場の特徴

500hPa 高度では、日本付近は明瞭な正偏差となったが、中国東北区やカムチャツカ半島付近は負偏差となった。亜熱帯ジェット気流は平年よりも北に偏っており、日本付近では太平洋高気圧の勢力が強く、東北地方は月平均気温がかなり高くなかった。また、日本の北では等高度線の間隔が狭くなっており、東北日本海側を中心に気圧の谷や前線の影響を受けた日があった。



2010年8月の平均500hPa高度
実線は等高度線：60m毎、点線は偏差：30m毎
陰影部は負偏差（寒気に対応）